

資料提供

平成26年9月5日

課名: 次世代産業課

担当者: 佐藤, 富重

電話: 内線3364

ダイヤル: 082-513-3364

環境浄化産業クラスター形成事業による県内企業の海外成約案件について

～(株)CFPによるマレーシア企業との廃プラ油化装置販売契約の締結～

1 趣旨

広島県では、環境関連産業のアジア地域への展開を促進するため、環境浄化産業クラスター形成事業を実施中ですが、この度、同事業の補助金等の支援を受けた(株)CFP(福山市)が、マレーシア企業と廃プラスチック油化装置の販売契約を締結しました。(9月3日調印)

今回の成約は、同社にとって、海外企業に対する初めての同装置の販売契約となるもので、東南アジアへの展開を図る上でのショーケースとしての役割も期待しているものです。

2 (株)CFPの概要

(1) 会社概要

- ・住所 福山市引野町5丁目11番4号
- ・資本金 3,000万円
- ・代表者 代表取締役 福田奈美絵
- ・業種 プラスチック材料加工販売, 廃プラスチック油化装置販売等

(2) 廃プラスチック油化装置の概要

同装置は、同社のグループ企業で開発したもので、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリスチレンの分別をすることなく効率的にリサイクル油にできる油化装置で、ディーゼル発電機やボイラー用の燃料として使用することができるもの。

3 契約先企業の概要

(1) 会社概要

- ・企業名 Heng Hiap Industries Sdn. Bhd. (ヘンヒアップ) 社
- ・所在地 マレーシア国ジョホール州ジョホールバル
- ・代表者 Mr. Kian Hoe Seah (シャ) 社長
- ・業種 廃プラスチックリサイクル業

(2) 同装置の導入目的

同社は、廃プラスチックリサイクル事業として、再生プラスチック原料の製造販売を行っているが、今回、同装置を導入し、新たに燃料化事業を開始するもの。

4 県の支援状況

○ 環境浄化産業クラスター形成事業補助金の交付

同社のマレーシアを始めとした海外展開の取組に対し、平成24年度から3年間、補助金を交付。(商談活動に係る航空賃, 宿泊費, 通訳費等の2分の1を補助(上限100万円/年))

○ 県幹部の商談先への訪問

本年6月、県イノベーション推進部長が、シンガポール水エクスポへの出展事業に合わせて、商談先企業を訪問し、県の取組やCFPに対する支援状況等を説明。

5 環境浄化産業クラスター形成事業

県内環境関連企業の国内トップクラスの生産力や技術力を生かして、環境問題が深刻化するアジア地域での新事業展開などを促進するため、セミナーや研究会の開催、海外企業との商談会等の開催、企業のビジネス活動への支援などを実施。(H26 予算: 73,072 千円)

PRESS RELEASE

◆内容についてのお問い合わせ

株式会社 CFP 油化事業部海外営業部 佐藤哲也

TEL:084-971-5950 FAX:084-946-6766 Email: t:satou@cfp-eco.com

2014年9月5日

マレーシア企業と廃プラスチック油化装置の供給契約締結について

～海外企業へ初の油化装置輸出～

株式会社 CFP（広島県福山市、代表取締役：福田奈美絵／以下、CFP）は、マレーシアの大手プラスチックリサイクル企業である Heng Hiap Industries Sdn Bhd 社（社長：Kian Hoe Seah）と、9月3日に廃プラスチック油化装置の供給契約を締結しました。CFPとしては、本年3月に契約締結した、南アフリカ共和国ケープタウン市で実施する国際協力事業団（JICA）の廃プラスチック燃料化技術に関する普及・実証化事業に続くもので、海外民間企業に対して初めてとなる油化装置の輸出となります。

今回のマレーシアへの油化装置の販売により、日本、アフリカ（南アフリカ）、東南アジア（マレーシア）の三地域で CFP の持つ最新技術の熱分解油化装置が稼働することになり、グローバルな展開を通じて、廃プラスチック油化システムの普及と拡販に努めてまいります。

また、本事業を進めるにあたり、CFP は広島県の環境浄化産業クラスター形成事業の補助を受け、現地調査を重ねながらマレーシア企業との交渉を進め、契約締結に至りました。



（写真：署名後の様子 左から2人目は HengHiap シャー社長、3人目が CFP 福田代表取締役）



(写真：署名後の様子 左：HengHiap シャー社長、右：CFP福田代表取締役)

CFPは、これまでプラスチックのマテリアルリサイクルに取り組んで参りましたが、新たな挑戦として更に付加価値の高い廃プラスチック油化というケミカルリサイクルにも取り組んでいます。昨今の時代や環境の変化に対応した環境エネルギー問題を解決する一つ的手段として、廃プラスチックを油化することにより、新たな燃料(リサイクル油)の創出を可能とすることで、廃棄物を削減し、廃プラスチックから生成した油を燃料として有効活用することができます。

CFPの油化装置は、一般的に家庭などで使用される主要なプラスチックである、ポリプロピレン(PP)、ポリエチレン(PE)、ポリスチレン(PS)を分別することなく、効率的にリサイクル油を製造することができます。廃プラスチックから生成した油は、ディーゼル発電機やボイラー用の燃料として利用することができるため、昨今の燃料費が高騰する中で、市販のディーゼル油・重油の代替として使用することが出来ます。また、焼却処理する場合に比べて大幅なCO₂の削減が可能となります。廃棄物の持続的で有効なケミカルリサイクルの手段として国内、海外から多数の問合せが来ています。



(写真：油化装置)